

(様式2)

令和7年度学校応援団 特色ある実践事例

学 校 名	実 施 月 日	学校応援団参加延べ人数
柳井市立柳井中学校	6月～3月	58人

1 活動名

ライゴンサロン（応援団と生徒の交流の場）

毎週月曜日・水曜日 13：10～13：25

2 活動内容

(1) 支援の概要

応援団と生徒が遊びや語り合いを通してつながりを深める。

(2) 経緯

不登校傾向の生徒や、学校生活において困り感を抱えている生徒にとっての居場所づくりの一環として、令和7年6月から新たに始めた取組である。

学校応援団定例会において提案され、毎週月曜日の昼休みに1階コミュニティルームを会場として取組を開始。毎回2～3名程度の応援団の方にご参加いただき、生徒との交流を深めている。

10月下旬からは水曜日にも実施することとなり、生徒と応援団との交流の機会は増えている。

生徒がコミュニティルームのピアノを演奏したり、生徒と一緒に練習したりする姿もあり、生徒の実態に応じた様々なコミュニケーションが広がっている。

(3) 活動の様子



3 子どもたちの声

「毎週2回、この時間が来るのが楽しみです」

「地域の方と話したり、トランプをして遊んだりすることで、気持ちがリフレッシュできます」

4 学校応援団の方の声（感想など）

「普段、中学生とじっくり話す機会はあまりないので、このような場所で子どもたちと話したり遊んだりすることは、子どもたちのことを理解することにつながります」

「学校の授業で関わるだけでは見えてこない子どもたちの才能や可能性に気付く場面もあり、とても有意義な時間です」

「お互いに名前呼び合える関係づくりにもつながります」